

クラウド・サービスコンピューティング論文特集の発行にあたって



クラウド・サービスコンピューティング特集編集委員会

委員長 村上陽平

クラウドコンピューティングの発展により、計算資源がインターネット上に集約され大規模化しつつある。昨今、このようなスケールアウトを可能とする計算環境を前提に、多くのソフトウェアや大規模データがインターネット上に集積され、スマートフォンなどのモバイル端末を介して、社会のいたるところで必要な時に必要な分だけサービスとして利用され始めている。このようにハードウェアやソフトウェアの所有から利用へとシフトしているクラウド時代では、組織の枠を越えて、ネットワークから計算資源、データ、その上で動作するアプリケーション、そして、ビジネスプロセスまで統合したサービスの構築手法が求められている。こうした社会的な期待に応えるために、情報・システムソサイエティ和文論文誌にて「クラウド・サービスコンピューティング特集」を企画するに至った。ネットワークサービスやIaaS, PaaS, SaaSといったレイヤごとのサービス構築、運用技術だけでなく、レイヤ内の水平型のサービス連携からレイヤを横断した垂直型のサービス連携まで幅広く論文を募集したところ、5編の応募があり、厳正な査読の結果、2編の論文を採録することとなった。

1編はクラウドサービスの性能偽装の検出方式の提案である。クラウドサービスの性能保証やクラウドガバナンスへの要求の高まりとともに重要な技術へと発展することが期待される。また、もう1編はクラウド

ソーシングによる翻訳評価の分析である。昨今注目を集めているクラウドソーシングを品質保証のないサービスとして捉え、信頼性の高い結果を得るためのタスク設計について分析している。どちらともサービスの性能に関する論文であり、クラウドサービスが真に社会に貢献するために重要な課題である。この特集が、クラウドサービスの社会における信頼性を高める契機となれば幸いである。

本特集を編集するにあたり、厳しいスケジュールにも関わらず丁寧な査読をして下さった査読委員の方々、並びに編集作業に携わって下さった編集委員の方々に厚く御礼申し上げる。特に、編集幹事の情報通信研究機構 田仲正弘様、筑波大学 鈴木伸崇先生には、編集作業全般にわたり多大な御尽力を頂いた。更に、学会出版事務局の高木久恵様にも大変お世話になった。この場をお借りして、皆様に心より御礼申し上げます。

最後に、本特集をはじめ、クラウドコンピューティング及びサービスコンピューティング分野の研究活動が今後ますます発展していくことを強く祈念するものである。

むらかみ ようへい
村上 陽平 (正員) 京都大学学際融合教育研究推進センターデザイン学ユニット 特定准教授。2006年京都大学大学院情報学研究科博士課程了。博士 (情報学)。2013年電子情報通信学会業績賞。2012年より電子情報通信学会サービスコンピューティング研究専門委員会委員長を務める。

クラウド・サービスコンピューティング論文特集編集委員会

委員長	村上陽平
副委員長	石川冬樹
幹事	田仲正弘・鈴木伸崇
委員	井垣宏・川村隆浩・須永宏・立堀道昭
	中村匡秀・Incheon Paik・細野繁